

越前町議会・令和7年6月定例会一般質問【笠原 秀樹議員】

(令和7年6月10日 午後2時40分 開始)

○13番（笠原秀樹君） 5月の月例会で、議長から質問の前の前置きが長いと厳しい指摘がありましたので、前置きなしで質問に入らせていただきます。

私の質問は、ほかの議員の皆さんと違って、打合せを一切しておりませんので、今日初めて町長から答弁をいただくことを楽しみにしております。

まず、町長就任されて2か月たちました。挨拶回り、大変だったと思いますが、一番大事な県庁へは、今日まで何回挨拶に行かれたか、お尋ねをいたします。

○議長（藤野菊信君） 笠原議員。

○13番（笠原秀樹君） いや、これは関連ですから、そんなことぐらい分かるでしょう。言えますよ。これないと、質問進められませんよ。

○議長（藤野菊信君） 関連も何も、質問の中に今の言葉は全然入っていません。通告書の中にも入っていません。

○13番（笠原秀樹君） これぐらいなら分かるでしょう。2か月の間に行ったか行かないかぐらい聞いたって、どこが悪いんでしょう。行っていないなら行っていないでいいじゃないですか。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） 最初、就任のときに行っておりますし、また、今行く予定もございます。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） 私なら、素晴らしい県会議員がおられますので、本町選出の。結果出てすぐさま、知事、副知事の都合を聞いて、質問に連れていってくださいと、挨拶に連れていってくださいと願いをした、それほど大事なことだと思いますので、お尋ねをいたしました。

では、最初に、今回の町長選に出馬した大きな理由を具体的にお聞かせ願います。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） それでは、笠原議員のご質問にお答えいたします。

今後、本町において、人口減少などが進むことが想定されますが、住み続けたいと思える町を、また、地域の特色を生かし、将来にわたり夢や希望が持てるよう、次の世代につないでいきたい、それらを町民の皆様と共につくり上げていきたい、そのような思いが募り、町長を目指すに至りました。

具体的な施策といたしまして、通学・通院など暮らしの移動の改善、通学支援制度や介護用品支給事業などの拡充、ふるさと納税の商品開発の支援と増収、より届きやすく、より伝わる広報の展開などがあります。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） 前青柳町長は、恐らく2期目に向けて、1期目も素晴らしい仕事をされてきたと私は思っています。その前町政のどこが駄目だったのか、具体的にお答えを願います。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） 前町政について、個別具体的な評価をすることは、今の私の立場

として適切ではないと考えております。その時々で状況を最善を尽くしてこられたものと考えます。

町長を目指したのは先ほど述べた理由であり、また、そのために、町民の声が届き伝わる開かれた町、暮らしのインフラを守り住み続けたい持続可能な町、地域の特色が未来へ生きる未来志向の町の3つのビジョンを掲げ、それらの実現に向けて努めている所存です。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） いろいろ言い方はあるでしょうが、新年度がスタートしました。町民の皆さん、今度の町長は我々町民に何をしてくれるのか。私も、笠原さんは聞いているんでしょうと言われましたけれども、具体的な公約などは分かりません、聞いておりませんと、そう答えざるを得ない状況にあります。

具体的な公約を、今お聞かせをしていただきたい。今までも、同僚議員の皆様には話はされておられますが、改めて具体的な公約を聞かせていただきます。

それと同時に、前町長は、少しでも町民の皆さんの税金を少なくするようにという思いもあったと思いますが、ご自分の報酬を2割カット、これを実行をされました。当時の副町長も、そして当時の教育長も同じでした。この件についても、町長、どう思われますか、お答えをいただきます。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） それでは、ご質問にお答えいたします。

ビジョンとしては、先ほど述べました開かれた町、持続可能な町、未来志向の町の3つを掲げております。

就任してからの具体的な取組といたしましては、今回6月議会の一般会計補正予算に、越前地区から福井市内への通勤・通学者を対象に、朝に1便、直行バスの委託料を計上いたしました。

介護用品支給事業に関して、今年度より補助を増額し、現在、関連品目の拡充ができるよう進めているところでございます。

また、ふるさと納税の商品開発に関する助成の検討、敬老会のイベントについて、より多くの方が参加したくなるよう、内容の見直しを進めているところでございます。

今後始めたいことといたしましては、具体的なことでは、通学支援の拡充、より届きやすく、より伝わりやすい広報の展開、AIなどの最新技術を活用した住民サービスの向上や業務効率化などを進めてまいります。

いずれにいたしましても、先ほど述べました3つのビジョンと関連した施策であり、一歩ずつ歩みを進めていく所存です。

なお、報酬の変更などにつきましては、現時点で検討しておりません。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） 相当の自信を持って言われているんだと思いますので、具体的に今後、どんな町政を進めていかれるのか、楽しみにしていきたいと思います。

選挙期間中、扉を開く、大変いいことをおっしゃっておられました。議員在任中に、じゃ逆に、ここは閉ざされた、そう感じたことに対して、どのような活動をし、そして、どのような要望を理事者側に伝えてきたのか、お答えをお願いします。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） それでは、ご質問にお答えいたします。

扉を開くとは、町政を町民の方々に、これまで以上によりオープンにしていくということでもあります。そのことに関して、議員在任中は、町民の方々の声が町政に届くような活動に努めてまいりました。

具体的には、町民の方々と直接お話しすることを大切にしてきました。また、電話やメール、SNSなどでいただいたご意見、報告会や懇談会などでお聞きしたことを行政に伝えてまいりました。また、一般質問などを通して、情報公開の議論などもしてまいりました。

ご意見やご要望といたしましては、防災無線、介護用品の支給、道路の草木の繁茂、街灯の破損や施設の雨漏り、空き家の除却といった具体的なことから、スポーツ振興、防災、公共交通、学校教育、子育ての在り方まで幅広くあり、それらを様々な形で行政にお伝えしてきました。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） 了解をいたしました。

次に、今までは私の知る限りでは、議員から町長に立候補された場合、きちっと日にちを決められて辞任をされて、町長選に挑戦をされてきました。今回は辞職せず、町民の皆さんの税金を報酬として受け取りながら、選挙運動を続けられました。

あなたの言われる町民目線には、どのように映ったと思われますか、お尋ねをいたします。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） それでは、ご質問にお答えします。

議員として、また議会代表の監査委員として職責を全うしたいとの思いで判断し、出馬の記者会見でもそのように述べました。

同様のケースは、県内外の自治体でも散見されておりますが、ご懸念や誤解を招いた点があれば、今後の糧としていきたいと思えます。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） 反省材料としていただければ、なおありがたいと思えます。

選挙運動中のことについてですが、町の施設で生計を立てている方、町の施設を使いながら。そんな人に、私も応援していますとチラシに載せられました。これはやっぱり道義的に考えて、こんなことしたらおかしいやろうと。1期議員をされたという、そういう人かどうか分かりませんが、気がつかないということもおかしいし、それをまた、チラシに載せたということ自体もおかしいが、どう思われますか。今後どのように対応されますか、お尋ねをいたします。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） ご指摘の件につきまして、選挙管理委員会等からの指導はなく、特に問題としても挙がっておりません。行政運営に関しては、公平・公正に取り組む所存です。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） 取り方次第だと思いますが、続きましては、政争の具になりました地域交流センターについてお尋ねをいたします。

選挙運動期間中、しきりに、イニシャルコスト、ランニングコストが、いかにもこの施設だけが膨大な費用がかかるかのようなことを強調され、誤解を招くことを言っていたと私は思われますが、事実を確認した上での行動だったのか、お尋ねをしたいと思います。

また、いろんな報告会の中で、議員の半分以上が反対したんですよ、そして、令和6年度予算にも反対をされておられます。令和6年3月定例会全員協議会での議員時代の町長の発言を参考資料としてお出しをしてあります。これを全部読むと時間がなくなりますので、本当に大変不切実やなど、不確実やというのが印象など、いろんなことで各地域で反対をされてこられました。

当然、結果が出たときに、私は工事中止命令を出すと思った。これだけ町民の皆さんに、ひどいんですよ、7億5,000万円もかかるんですよと、反対をしてきたのは事実です。そして、僕は解体をするんでないかなと。先ほど同僚議員は、また違う見方もされておられましたが、それほどまでのことをされるんじゃないかなと私は思っていましたんですが、180度転換をされました。理由は何でしょう。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） まず、ちょっと事実と異なる点が幾つかありますので、そこも含めて整理させていただきます。

まず、最初のご質問にありましたイニシャルコスト、ランニングコストの件なんですけれども、見えやすいイニシャルコストだけでなく、将来にわたってかかってくるランニングコスト、これはとても重要であるとの認識です。公開されている情報や関係資料を参照した上で、またスライドなどにおいては、出典を記載した上で説明をしておりますが、誤解を招くようなことがありましたら、今後、より丁寧に説明をしてまいりたいと思っております。

あと、地域交流施設の件に関しましては、今、前段でお話しされたひどい施設とか、そういったことを私は言った記憶がございません。いろんな事実を並べていく、そういったことはいろんなところでさせていただきましたが、そういった事実と異なる、あるいは不確かな情報を前提にした形で論を展開されても、なかなか答弁がしづらいというのが、今の私が感じているところでございます。

もし可能であれば、私が懇談会等のお話しした内容の引用をお示ししていただいた上で、また問いをしていただければ幸いかと考えます。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） いろいろ答弁の仕方もあるとは思いますが、変わっていただいて、私は悪いというんじゃないんですよ。当然、この頃挨拶の中でも、にぎわいの場として、あそこを中心ににぎわってほしいという挨拶も、この頃されておられるのも聞いていますので、そういう施設になっていければ、なお私はうれしいという思いから発言をしていますので、これは私の言うことも認めていただければと思います。

次に、令和6年度当初予算に反対をされました。地域交流センターの建設費が入っている、この理由ならば、建設費を除いた予算を修正動議として提案できる議員としての当然の権利、これを行使しなかったのはなぜなのでしょう。

当初予算に反対するということは、2万人町民全ての生活に大きな影響があると、これは明白なことですので、町民のことを全く考えない、無視した行動であったんじゃないかと私は思います。自分の選挙を有利に導くための行動であったとしか思えませんが、これについての答弁を求めます。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） 当初予算の議決の在り方については、いろんな見解があると思います。笠原議員の見解も一つであると考えます。

当時は町長選挙の出馬などは考えていなく、結果的に選挙利用との批判は受け止

めますが、そのような意図はございませんでした。

議決については、当時、ほかにも説明が不十分な案件があったと認識し、一議員として熟慮の上、判断した次第です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） 次に、仏教の言葉で唯我独尊という言葉があります。俺様は偉いんだと、自分ほど偉いものはないとうぬぼれることだそうでした、釈迦が生まれたときに7歩歩いたんだそうですね。一方では天を指して、他方では地を指して唱えた言葉だと、世の中で自分より尊いものはないという意味で、天井天下唯我独尊の略でございます。

これは私の考え、見た目からの意見ですが、議員時代からの職員に対する言動、理事者側に対する言動等を見てきていると、全くそのように思えてなりませんが、どう思われますか、お尋ねをいたします。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） ご指摘恐れ入ります。ご指摘は自らを律する言葉といたします。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） 素直な答弁もあって結構だと思います。これからも気をつけていっていただければ幸いです。

今まで越前町は、前衆議院議員であられました高木毅先生はじめ、自民党の議員には大変お世話になってきました町です。高木さんがおられない状況の中で、今回私はどうしても、参議院議員選では現職の方に当選していただきたい思っているところでございます。これについては、ご自身の考えはどう思っておられますか、お尋ねをいたします。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） 私個人としては、現参議院議員の先生を応援しており、引き続きご活躍されることを願っております。そういった思いから、先日6月7日には、現職の国政報告会にも出席させていただきました。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） これは驚きました、私も。私の隣に、ほかの町の議員さんもおられました。おい、笠原君、あんたのところの町長来たぞ、場所間違えているんでねえんか、そんな声もありました。これは、やはり皆さん分かっておるんですよ。だから、そういうふうな見方をされたんだと私は思いますが、頑張っていたきたいというんじやなしに、今までは町長が候補者議員さんの後援会長をされてきています。今回は同僚議員がやっておるんです。町長じゃないんですよ。これ、国への要望等で影響はないとお考えですか。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） 私個人としては、繰り返しになりますが、現参議院議員の先生を応援しており、引き続きご活躍されることを願っております。

後援会での役職の人事につきましては、私がお答えする立場ではないとの認識です。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） ご活躍を願っているだけで、応援するとは言っていないんですよ。それはそれで、選挙に対する考え方としてはそれでいいんでしょうが、2万町民はどう思うでしょうねと私は思います。

議員のときと違い、町のトップになれば、今までと一緒では駄目で、変わっていく必要があると思います。地域交流センターの件、令和6年度予算反対の件、また、自民党からふくいの党への件など、これほどこころと変わっていては、町民は本当に何を信じていいのかと思ってしまう。あなたを支持した町民の皆さんは、私の質問の内容を知ったらどう思うと思われますか、お答えをいただきます。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） まず、先ほどの答弁に関しまして、私個人としては現参議院議員の先生を応援しており、引き続きご活躍されることを願っておりますというふうに答弁しておりますので、そういったことで、応援しておりますというふうに明言しております。

ただいまのご質問なんですけれども、まず、ふくいの党には入ったこともありませんし、私自身は無所属であります。地域交流センターにつきましては、その在り方について熟慮した結果、完成後の施設を有意義に活用していくことが重要であると判断した次第です。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） 選挙運動期間中、あそこにおられたメンバー、ふくいの党には入ったことはないと言いますが、実際町民は、あれを応援したのは、みんなその人やと思っている方が多いのが事実やと思いますので、私は今入ったことないということに対しては、それはそれでいいとして、応援してきたのがそういう人たちだったと、これは誰もが思っていることだと私は思います。

違うとおっしゃいましたが、ふくいの党では違うとおっしゃいましたが、越前町の町長ですということで、県や国に対してトップセールス、当然やっていかなきゃならないと思いますが、これでできます、安心してください、町民の皆さんと言い切れますか、お答えをいただきます。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） 国や県との連携はとても重要ですので、全力で取り組んでまいります。以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） そんな答弁が精いっぱいでしょうね。

職員の皆さんに訓示をされておられます。今までこうだったから、これからはこのようにやっていく、そういうことでは駄目なんですと訓示されたと聞いています。いいほうに取れば、皆さんのアイデアをどんどん言ってきてくださいよと、そういうことも取れますが、自分の指示に従えとも取れる取り方もあると思います。

そこで、一つお尋ねをいたしますが、先日、スポーツ協会の会長宛てに、越前町総合振興計画審議会委員の推薦ということで要請が来ております。この内容、2年ごとに替わるらしいんですが、年数が変わっているだけで全く同じで、町長の決裁を得ているから出ているんだと。内容を見ますと、貴団体から1名の委員をご推薦ください、可能であれば将来を担う若い世代の方の推薦をお願いと。

今、どこの団体でも後継ぎがない、後継者が。町長は挨拶だけで帰られる、例えばスポーツ大会であっても、参加されたことを僕は見たことはありません。本当に世話をさせていただく方、大変な思いで世話しておく。

じゃ、これに目を通しておきながら、同じことをやっていたんでは駄目ですよ、言うこととやっていること、違うじゃないですか。なら、ご自身は選挙で利用したSNSで若い人を集めて、将来こうやっていくと、すばらしい人を集めてやられた

っていいんじゃないと私は思いますが、これとその前の、今までと同じことをやっ
ては駄目なんですよという、このことについて答弁を求めます。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） それでは、ご質問にお答えします。

議員ご指摘の今までこうだったから、これからもこのようにやっていくというの
では駄目と訓示したとのことですが、訓示で使用した文章にそのような記載はなく、
また、そのような訓示を述べた記憶もございません。そのような趣旨で受け取られ
た職員がおられたとすれば、私の言葉足らずであったと反省いたしますが、先ほど
のご質問も含め、事実と異なる、あるいは不確かな情報を前提に論を展開されまし
ても、建設的な議論にはなりにくいのではないかと感じている次第です。できまし
たら、私の発言を引用した文章を示していただけると、大変ありがたいと感じる次
第です。

なお、職員の皆さんからは、アイデアをどんどん言ってきてほしいと心から願っ
ておりますし、町政に取り入れていきたいと考えております。以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） 私も、町が悪くなるようなことになってほしくはないんです。
それがまず第一なんですよ。

だから、随分分かかって答弁されていますけれども、町民のためにというその気
持ちは、私はあなたよりも強いかもしれない、はっきり言って。今、大分強い言葉
で言われましたけれども、それは私は誰にも負けないと思っておりますので、履き
違えないようにしていただきたいと思います。

最後に、私は今、通告させていただいた通告書で質問をしてきました。通告書と
一緒に出したときに、議長から、この質問に変えてくださいという、うちの玄関に
置いてあった。これ、おそらく見ていただいていると思うんですが、これは町長の
指示ですか。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） そのような指示はしておりません。以上です。

○議長（藤野菊信君） 笠原秀樹君。

○13番（笠原秀樹君） ということは、議長単独での質問変えなのか、これは議会運営
委員会で議論して、責任を追及していかなければならないと思います。

なぜかといいますと、理事者の都合の悪いことはカットされている。こんな質問
者が通告を出すと、理事者に不利な質問は変えてくださいよと、こんなことになっ
たら、これから質問すること、みんな限定されてしまう。そんなことがあっては決
してならないと私は思います。これは責任の追及をしてまいりたいと思います。

私の質問はこれで最後ですが、あなたの両肩には2万町民の生活と命がかかって
いる。そういう強い思いで町政を担っていただきたいという思いから、厳しい質問
もしましたが、改めるところは改めるとおっしゃったので、そのようなところは安
心をしています。私の町長に対する気持ちも、改めるところは改めていきますの
で、これからは町政がいい方向に向かっていくことを強く期待をするものでござい
ます。

私の質問で今日は終わりますので、早朝から傍聴に駆けつけて熱心に傍聴してい
ただきました皆様方にお礼を申し上げます。質問終わります。

（午後3時16分 終了）